

# 学生が入学してから伸びる釧路校

## キャンパス長ご挨拶

北海道教育大学釧路校キャンパス長

玉井 康之

北海道教育大学釧路校は、教育実践力向上・教職キャリア形成のために様々な実践プログラムを用意しています。学生どうしが協働的に学びあい成長する姿は、学校現場からも高く評価されています。そんな成長する学生を応援する釧路校を目指しています。

### 1. 全国でトップクラスの教職就職率

釧路校は、教職意欲のある学生を在学中に大きく伸ばす大学です。釧路校の教職就職率(教職に就職する卒業生の割合)は、全国の大学の中でも高く、教職意欲のある多くの学生が教師を目指して切磋琢磨しています。

### 2. 教育実践力が向上する釧路校

釧路校は1年次前期から学校現場に入る「教育フィールド研究」を実施しています。大学での理論研究を基盤にしながら、学校現場で授業を直接観察したり、子どもとの関係力や教育指導力を高めるプログラムを充実させています。

### 3. 複数教員免許を取得でき横断的・多面的に学べるカリキュラム

釧路校は小学校・中学校(高校)・特別支援学校の三種類以上の教員免許を取得できるカリキュラムを採用しており、複数免許取得を通して多様な教科の指導力や多様な課題に対応できる生徒指導力を高めています。

### 4. 全国唯一のへき地・小規模校教育プログラム

釧路校は全国で最も先進的なへき地・小規模校教育の理論と実践を体系的に学べるへき地教育プログラムを有しています。“教育の原点”と言われる小規模校の指導方法を学び、都市部にも応用できる指導力を育成しています。

### 5. 先進的な地域協働型の教員養成を推進

釧路校は地域協働型の教員養成を推進しています。地域文化・食育・環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)などの地域教育活動を通じて、教師が保護者・地域住民と協働する力や、コミュニティスクール運営力、地域を教材化する力、などを高めています。

### 6. インクルーシブ教育を推進

釧路校は小中学校に対応する特別支援教育を推進しています。障がいのある子どもたちのみならず多様な子どもを多様な方法で包摂しながら学級経営や学習指導を進められるインクルーシブ教育指導力を高めています。

### 7. 学生の居場所を保障する釧路校の協働学習環境

釧路校は所属分野ごとの学生研究室があり、学生どうしで学び合う関係を作っています。またグループ学習室や協働学習ルーム・自習室を多く設置しており、一人あたりの協働学習施設が極めて豊富です。



## 北海道教育大学釧路校－教育の特徴－

都会にはない、東北海道独特の「よさ」を体感しながら、「アットホームな教育環境」のもと、地域の教育現場との「連携活動」を通じた「実践教育」により、現代社会に求められる幅広い教育能力を磨く。

### 「教育フィールド研究」

- ・1年生から学校現場を訪問し、実際に子どもと関わる「実践教育」を展開
- ・「学校支援ボランティア」により、こどもの学習指導を体験し、指導の内容や指導のむずかしさを学ぶ
- ・「学校行事」に参加し、さまざまな観点から子どもを知る能力を育む

### 「へき地教育」

- ・1年生の春に実施される「新入生研修」での、へき地小規模校の訪問
- ・全国でも例のない「へき地教育論」と「へき地校体験学習」による理論と実践
- ・少人数の学習指導方法の開発

### 「ESD (Education for Sustainable Development) 教育」

- ・釧路湿原国立公園・阿寒摩周国立公園・知床世界遺産を生かした自然体験プログラムや自然を活かした自然再生エネルギーなど、新しい環境教育の実施
- ・北海道らしい農業体験学習や食育・命の教育、など、小学生に身近な食と生活に関わる体験学習プログラムの開発
- ・学校教育と連携した様々な地域づくり活動の実践を通して、地域に貢献できる教師を育成

### 「特別支援教育」

- ・通常学級と連動した「インクルーシブ教育（包摂の教育）」による特別支援教育の知識・スキルの習得
- ・「特別支援学校教員免許」の取得

### 「小・中一貫教育」に対応

- ・小・中一貫教育に対応できる教科の知識と、指導方法、カリキュラム立案の力を磨く
- ・小学校教員免許のほか、中学校の国語、数学、理科、社会、英語、美術、音楽、保健体育、家庭の免許取得が可能

### 小規模大学の特徴を活かした「アットホームな教育環境」

- ・学生と教員の関係が身近にあり、日常的に専門的アドバイスや様々な相談が受けられる
- ・教師を目指す共通の目的のもと、学生同士の切磋琢磨し助け合う雰囲気醸成され、約90%の学生が教職へ